

平成 25 年 5 月 13 日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 中富一郎
(4571 東証マザーズ)
問合せ先 取締役CFO兼管理部長/社長室長 中塚琢磨
電話番号 03 - 3548 - 0217

米レギュラス社とマイクロ RNA 治療薬に関する フィージビリティースタディ開始のお知らせ

このたび、当社は、Regulus Therapeutics, Inc. (以下、「レギュラス」)との microRNA (以下、「マイクロ RNA」)治療薬に関するフィージビリティースタディを開始しましたのでお知らせします。

本フィージビリティースタディでは、レギュラスは、レギュラスが選択したマイクロ RNA 分子を当社に提供し、当社は、当社の核酸医薬デリバリーに適したミセル化ナノ粒子技術を用いてマイクロ RNA 分子の製剤化を行い、両社共同で前臨床試験を行います。

当社は、レギュラスが、同社の核酸医薬パイプラインで進めている、効率的な全身投与システムの開発に、当社のミセル化ナノ粒子技術が貢献するものと期待しております。

尚、本件による平成 25 年 3 月 19 日に開示した平成 26 年 3 月期業績予想への影響はございません。

< マイクロ RNA >

マイクロ RNA の発見は、siRNA の発見と同様に革新的な科学的ブレイクスルーの 1 つとされています。マイクロ RNA は長さ 20~25 ヌクレオチドからなる小さな 1 本鎖 RNA 分子です。2 本鎖の siRNA より安定していますが、作用は類似しており、タンパク質をコードするのではなく、細胞内 mRNA (メッセンジャー RNA) と結合し、直接遺伝子発現を制御します。これまでに、ヒトゲノム中に 500 以上のマイクロ RNA が同定されており、ヒト遺伝子の 3 分の 1 以上がマイクロ RNA によって制御されていると考えられています。これまでの研究により、がん、線維症および代謝性疾患を含む多くの疾患で、マイクロ RNA の発現または機能が大きく改編され、制御不全になっていることが明らかにされています。レギュラスは、前臨床試験において、組換えマイクロ RNA が効果的に疾患経路を制御し、有益な治療効果を得られることを示しています。

< レギュラス社 >

レギュラスは、マイクロ RNA を標的とする革新的な医薬品の探索と開発をリードするバイオ医薬品企業です。レギュラスの治療薬開発のプラットフォームは、20 年以上に亘って開発を続けてきた技術に基づいています。同社は、学術関係者の幅広いネットワークと連携し、Alnylam Pharmaceuticals や Isis Pharmaceuticals が培ってきたオリゴヌクレオチド創薬開発の専門知識を有効活用し、がん、線維症、C 型肝炎や代謝性疾患など、いくつかの分野でマイクロ RNA 治療薬の臨床開発を進める予定です。レギュラスは、これらの分野でアストラゼネカ、グラクソスミスクライン、サノフィ、バイオジェン・アイデックなどとの戦略的提携を進めています。

以上